

バランス型ふろがまを安全にお使いいただくために!!

⚠ 異常着火に注意

点火操作時

何回も点火操作しないと口火(たね火)がつかなくなった場合には、機器内に生ガスがたまり、爆発着火して損傷(変形)したり、大きな爆発音があるので、大変危険です。

点火しにくくなった場合は、お買い上げの販売店または、ガス事業者に点検・修理を依頼してください。

シャワー・追いだき時

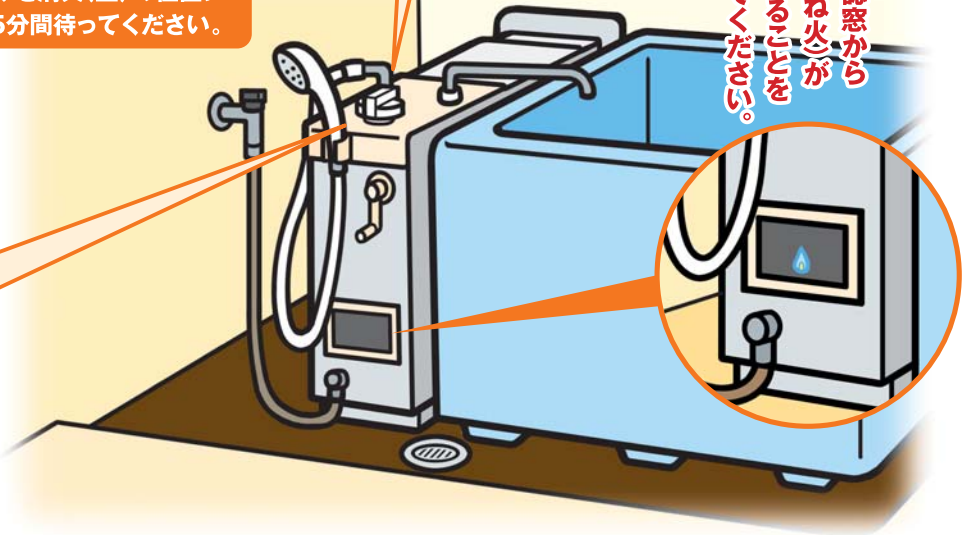
点火確認窓から口火(たね火)がついていることを確認してください。シャワーや追いだき使用後、つまみを戻しすぎて口火(たね火)が消えていることがあります。

追いだきなどの再使用時、3秒以内に着火しない時は、機器内に生ガスが出て、再操作すると大変危険です。

着火しない時は再操作をやめ、つまみを消火(止)の位置に戻して、生ガスが排出されるまで約5分間待ってください。



点火確認窓から口火(たね火)がついていることを確認してください。



⚠ 排水口のつまりに注意

排水口がつまり、ふろがまが水に浸かっていると機器内に水が侵入して、炎があふれ、点火しにくくなったり、故障や火災の原因になります。

排水口が少しでもつまっていたら掃除をしてください。

浴そう水の排水時・洗濯機からの排水時には、特に排水口のつまりにご注意ください。

排水口が少しでもつまっていたら掃除してください。



⚠ やけどに注意

- シャワーや上り湯の使い始めの時や使った後は、熱いお湯が出る場合があります。体にかける前には必ず手で湯温を確認してください。
- 給湯中・給湯直後は、ふろがまや排気筒が非常に熱くなっていますので、ふれないようにご注意ください。
- おふろに入る時は、よくかきまぜて湯温を手で確認してください。

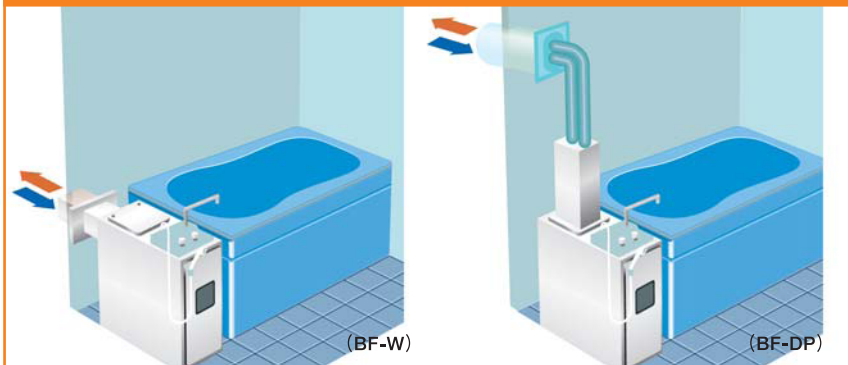


バランス型ふろがまの あんしん高度化に関するお知らせ

バランス型ふろがまの安全性を向上するために製品が切り替わりました。

全てのバランス型ふろがまの製造を2011年3月末までに、乾電池を使用した「あんしん高度化」機器へ切り替わりました。

バランス型ふろがまの例



背景

ガス機器の技術基準の一層の強化や、経年劣化による事故防止のため「長期使用製品安全点検制度」等の新制度が施行され、一般消費者の生活における一層の「安全・安心」が求められています。

こうした国の動きを踏まえ、ガス機器を起因とする事故の撲滅を目的としたガス機器関連業界の自主的な検討の場である「あんしん高度化ガス機器普及開発研究会※」が活動を進めておりました。

この業界活動の一環として、更なるあんしん高度化への取り組みのため、バランス型ふろがまの安全性向上を行います。

※この研究会は、ガス事業者、ガス機器メーカー、行政、消費者団体、学識経験者で構成されています。

あんしん高度化で実施する4つの項目



誤操作・異常操作による 異常着火防止

- 誤操作と異常操作したときに、再点火しても異常着火を防ぎます。

※点火操作が容易になるメリットがあります。



ふろ消し忘れ防止

- ふろを長時間消し忘れることを防止します。

※沸き上がり消火タイマーではありません。



冠水による機器内部焼損・ 異常着火防止

- 炎あふれによる機器内部焼損前に消火をします。
- 冠水排水後の異常着火を防ぎます。



タイムスタンプ機能搭載

- タイムスタンプ機能追加、10年使用相当でお知らせします。

ご用命は下記まで

広島ガス東部株式会社

本社 安芸郡府中町浜田3丁目4-26

(082) - 283 - 8883

熊野支店 安芸郡熊野町出来庭3丁目1-6

(082) - 854 - 0257

一般社団法人

日本ガス石油機器工業会

〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-11

www.jgka.or.jp

クリック

JGKA

検索



経済産業省